分野:総合病態診療学

主科目 副科目	臨床検査医学 Laboratory medicine	DM_1504	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)

担当	教 授	准 教 授	講 師	助 教	客員教授・その他
板橋	◎古川 泰司	横山 直之 松田 圭二			初野 健人 (客員研究員) 野木 岐実子 (血液検査技師)
–					
–					

	臨床検査医学Ⅰ (1年次)				臨床検査医学Ⅱ (2年次)				臨床検査医学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	臨床検査医学は検査医学全般に関する教育、研究、研修を行う。帝京大学病院臨床検査専攻プログラム(機構認定プログラム)に準じ、臨床検査専門医取得を目指すとともに、臨床検査の各分野について、各科の実診療と密接な連携をとりながら、これを修める。1年次は、特に臨床検査総論と、超音波検査を主体とする臨床生理学の研修を行う。				1年次での研究・研修に加え、検体検査(医療機関で行う検査全般:臨床血液、臨床化学、臨床微生物、臨床免疫、遺伝子検査、尿検査)、臨床生理機能のうち超音波以外の各生体検査について、検査方法の理解、習得を行うとともに、新たな臨床応用を行える人材の育成を目標とする。				1,2年次の研究・研修内容をもとに、特定の検査部門を選定して、学位論文作成準備を開始する。			
到達目標	1. 臨床検査各部門の包括的知識習得に励み、検査管理医として臨床検査部門指導を行える。 2. 上述の目標達成のため、臨床検査管理医としての実践に携わり、その行動目標達成に向け努力する。 3. 専門性の高い領域の検査結果について各領域からのコンサルトに対応できる。				1. 臨床検査医学の実践を通じて,予防医学・健康管理の分野で貢献できる。 2. 臨床検査部(室)ならびに臨床検査に関連した部署の適切な管理・運営の基本を身につける。 3. 行政関連ならびに日本医師会,各地区医師会などの精度管理事業の企画・実行に協力し,精度管理調査・監査報告書の作成ができ,さらに立ち入り検査では学識経験者として監視指導ができる。				1. 検体検査の精度管理、検査全般に関わる倫理的事項への対処、医療安全上の諸問題への対処が指導的立場で行える。 2. 卒前教育、卒後教育を指導的立場で担当できる。 3. 臨床検査に関わる学会発表を行い、またすぐれた論文を作成し、公開できる。 4. 登録衛生検査所の業務に関して指導監督ができる。			
事前事後学修	臨床統計、検査精度管理の概念について、おおまかな知識を習得しておく必要がある。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				専門とする検査分野(検体、細菌、生理)に関しては、コアとなる研究内容を想定しておく必要がある。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				関連学会での発表、抄録作成をへて、論文作成のスキルについて準備する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	受講態度30% (メディカルスタッフとの共同作業) レポート 50%				受講態度50% (メディカルスタッフとの共同作業) レポート 50%				レポート 50% 口頭試問 50%			

■主な演習（講義・実習含む）

	臨床検査医学Ⅰ （1年次）	臨床検査医学Ⅱ （2年次）	臨床検査医学Ⅲ （3年次）
板橋	木 曜日 11 : 00 ～ 12 : 00	木 曜日 11 : 00 ～ 12 : 00	火 曜日 9 : 00 ～ 11 : 00
	臨床生理検査概論	心電図検査演習	細菌学的検査演習
	木 曜日 16 : 00 ～ 18 : 00	木 曜日 16 : 00 ～ 18 : 00	木 曜日 16 : 00 ～ 18 : 00
	臨床検査適正化委員会参加と実習	臨床検査適正化委員会参加と実習	臨床検査適正化委員会参加と実習
	金 曜日 9 : 00 ～ 10 : 00	金 曜日 10 : 00 ～ 11 : 00	金 曜日 10 : 00 ～ 11 : 00
	臨床検査総論演習	臨床生理検査総論	臨床生理検査各論
－	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :
－	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :
－	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :
－	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :
－	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :
－	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :	曜日 : ～ :

教科書・参考書

臨床検査法提要（金原出版、最新版）、臨床検査のガイドラインJSLM2018

その他履修上の注意事項

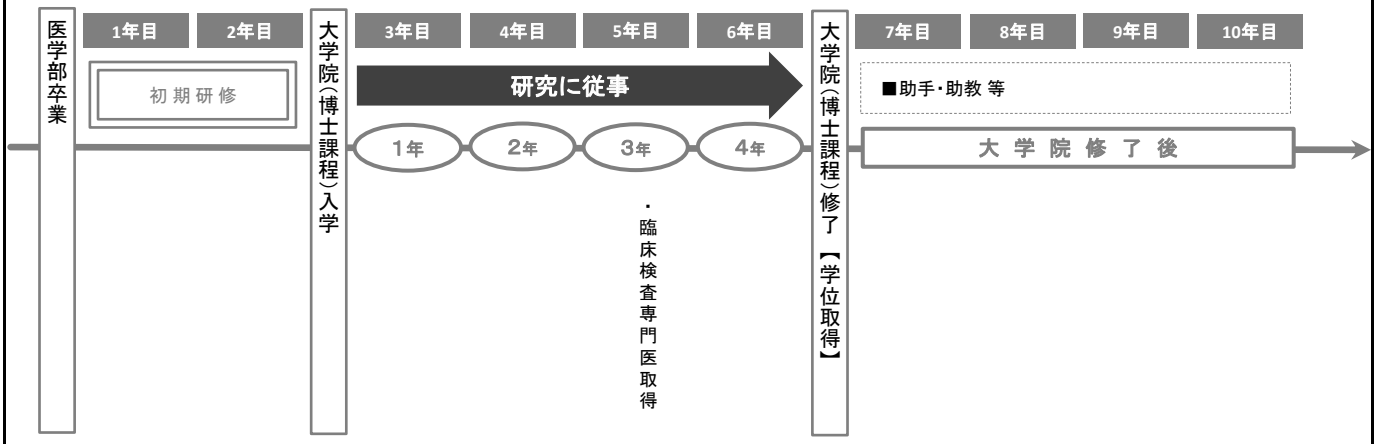
本大学院研究・研修内容は、基本的に機構認定臨床検査専門医取得を目指す大学院生を念頭に作成されている。同専門医は、基本領域専門医であり、プログラム／カリキュラム制での研修を受け付ける。各年次での研究・研修内容に大幅な変更は許されないが、同専門医を目指さない場合は、別途カリキュラム内容について相談を受け付ける。また、各検査部門を期間ごとに研修するため、講義、実習、演習は、時期によって日程変更があり得る。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目		
	副科目	1)内科系および外科系の臓器別関連領域を1科目以上、講義・演習にて履修する。 2)各臓器別領域のカンファランスを副科目として履修することができる。
	共通科目	共通科目：各診療科、各臓器別領域の特論を選択できる。

関連する専門医資格

臨床検査専門医（日本臨床検査医学会）

キャリアパス（モデルコース）



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。